

臨時レポート

7月FOMCで金融政策を現状維持

パウエル議長は改めて当面利上げを行わない姿勢を示す

- ▶ 7月FOMCで金融政策の現状維持を決定。パウエル議長は「新型コロナウイルスの感染再拡大により、6月以降、景気回復は鈍化している。引き続きあらゆる手段を用いて景気回復を支える。」と発言。
- ▶ 一部投資家はインフレ率目標達成までゼロ金利を約束するフォワード・ガイダンスの次回導入を予想。

<6月以降、景気回復は鈍化>

- FOMC(米連邦公開市場委員会)は7月28~29日の定例会合で、政策金利を0.00~0.25%に据え置くことを決定しました。声明文の文言「雇用最大化とインフレ目標達成が軌道に乗るまで0%近辺に政策金利を留める」に変更はなく、量的緩和パッケージ策<米国債等の無制限購入措置や社債等の購入プログラム(少なくとも今後数カ月に亘り現行ペースで資産買い入れ)>にも変更はありませんでした。パウエル議長は記者会見で「新型コロナウイルスの感染が再拡大した6月以降は、景気回復は鈍化している。依然として旅行などサービス分野での消費の弱さが見られる。引き続きあらゆる手段を用いて景気回復を支える。」と発言し、また当面利上げを行わない姿勢を示しました。
- FRB(米連邦準備制度理事会)がインフレ指標としている食品とエネルギーを除いたコア個人消費支出価格指数(5月)は、前年同月比で+1.0%と4月の同+1.0%から横ばいとなり、FRBが安定水準と見なす2%を下回っています。
- 6月雇用統計では、失業率が11.1%と前月(13.3%)から改善しました。市場予想よりも改善したものの、経済活動停滞前の2月からは7.6ポイント高い状態に留まっています。雇用回復のスピードは緩やかなものになるとの見方が大勢を占めています。

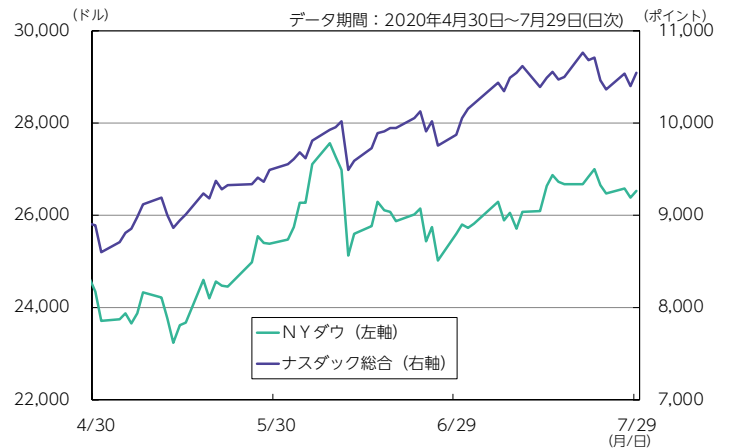
<足元の製造業景況感は底入れを示唆するものの>

- 6月米サプライマネジメント協会(ISM)製造業景況感指数は、52.6と前月から9.5ポイントの大幅改善となり、好不況の境目となる50を上回る結果となりました。構成指数である景況指数などが良好な中で、雇用指数のみが低調な結果とおり、今後も改善傾向が続くことに懐疑的な見方もあります。

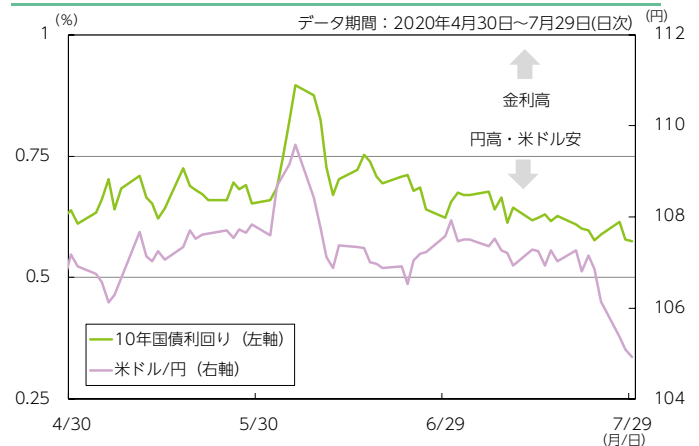
<フォワード・ガイダンス政策導入の予想も>

- 29日の米国株式市場は、FRBの緩和的な姿勢が確認されたことが、市場の安心感に繋がり、やや上昇しました(図表1)。米国債券市場や為替市場の

図表1：米国株式指数の推移



図表2：10年国債利回り・為替の推移



出所) 図表1、図表2はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

反応は限定的となりました(図表2)。一部投資家からは、次回9月の会合でインフレ率が目標に達するまでゼロ金利政策を継続することを明確にするフォワード・ガイダンス(将来の金融政策の方向性を説明する指針)の導入を予想する声もあります。資産購入ペースを適宜調整するイーールドカーブ・コントロール政策(長短金利操作)の導入についても予想する声もありましたが、今のところ導入の可能性は低いと見られます。FRBは新たな金融政策の導入検討により、市場に安心感を与えることに腐心していますが、今後の市場動向は今回の声明文でも示された「感染拡大の状況次第」の一言に尽きると考えられます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>